

■表1

H24.7.6

大雛導入
(赤色卵鶏 123日齢 1250羽)

直後、隣接鶏舎で異常卵が増える

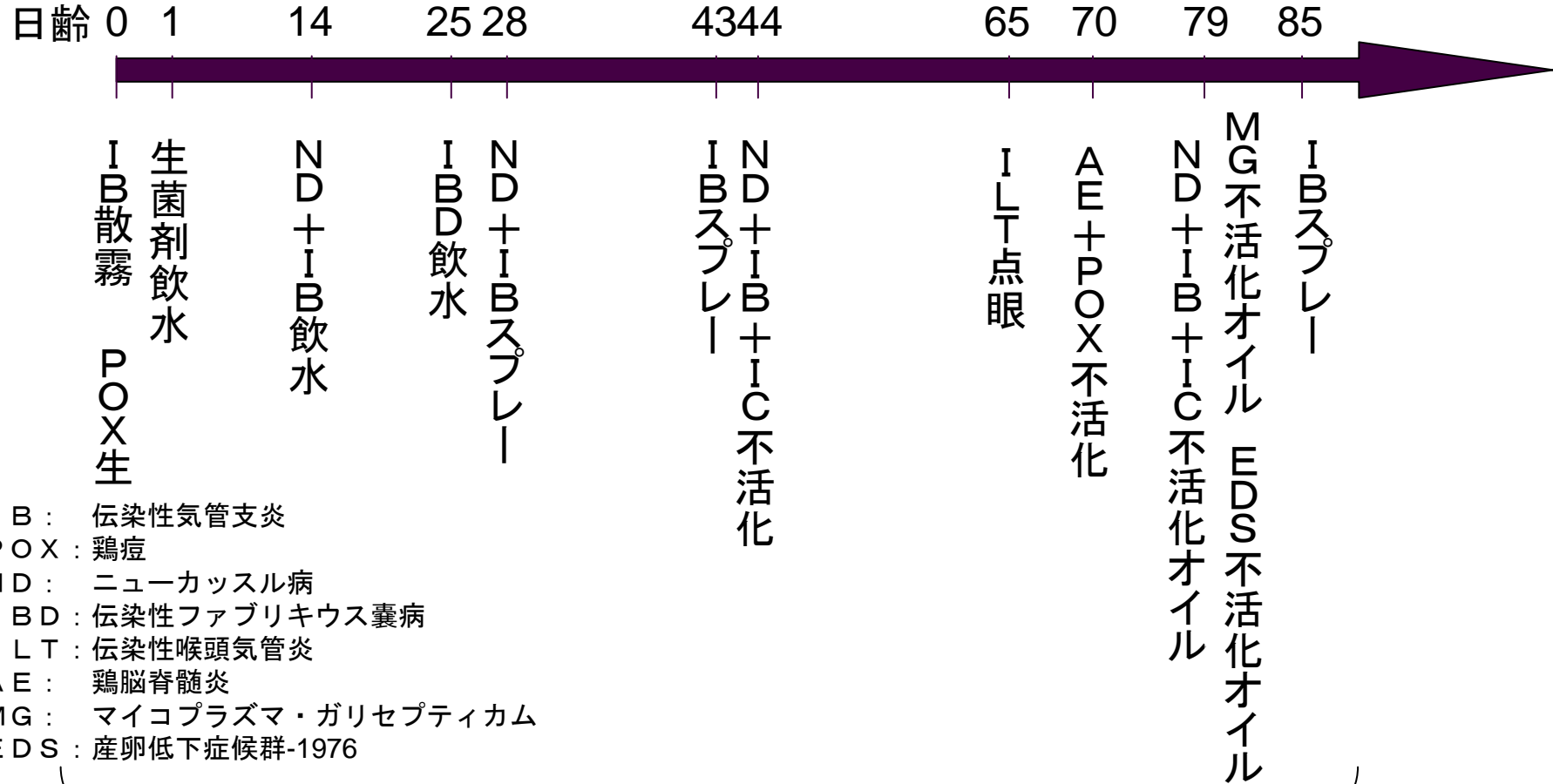
記録無し

異常卵増加は
農場全体に拡がり、
2週間程度で収まる

H24.10.18

発育不良(一部脚弱)鶏が散見される為、
原因究明の検査依頼

■表2



マレック病ワクチンなし



■ 表3

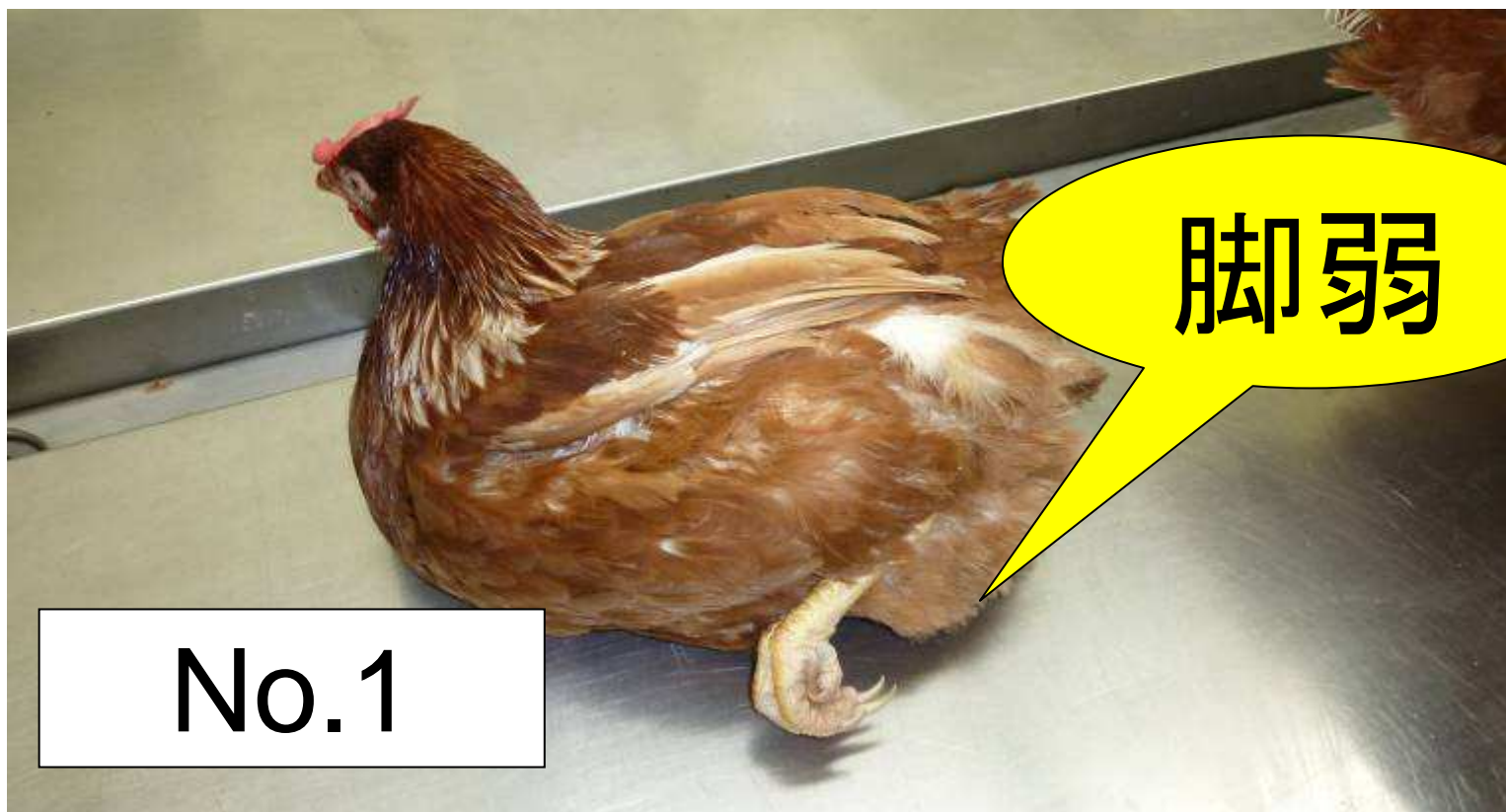
- 病理解剖学的検査
 - 一般細菌検査 : 肝・心・脾・全血について好気及び微好気培養
 - サルモネラ検査 : 盲腸内容
 - クロストリジウム検査 : 小腸内容を嫌気定量培養

- 寄生虫検査 : 飽和食塩液浮遊法、シヨ糖遠心浮遊法

- ウイルス分離 : スワブ上清の発育鶏卵接種
- PCR検査 : 羽軸、腸管膜腫瘍のPCR
- 抗体検査 : 鳥インフルエンザ(ゲル内沈降反応)、
ニューカッスル病(HI)

- 病理組織学検査

■写真1



脚弱

No.1

■写真2



腫瘤

No.2 腸間膜

■写真3

No.2 脾臓



腫大

■写真4

No.3 小腸

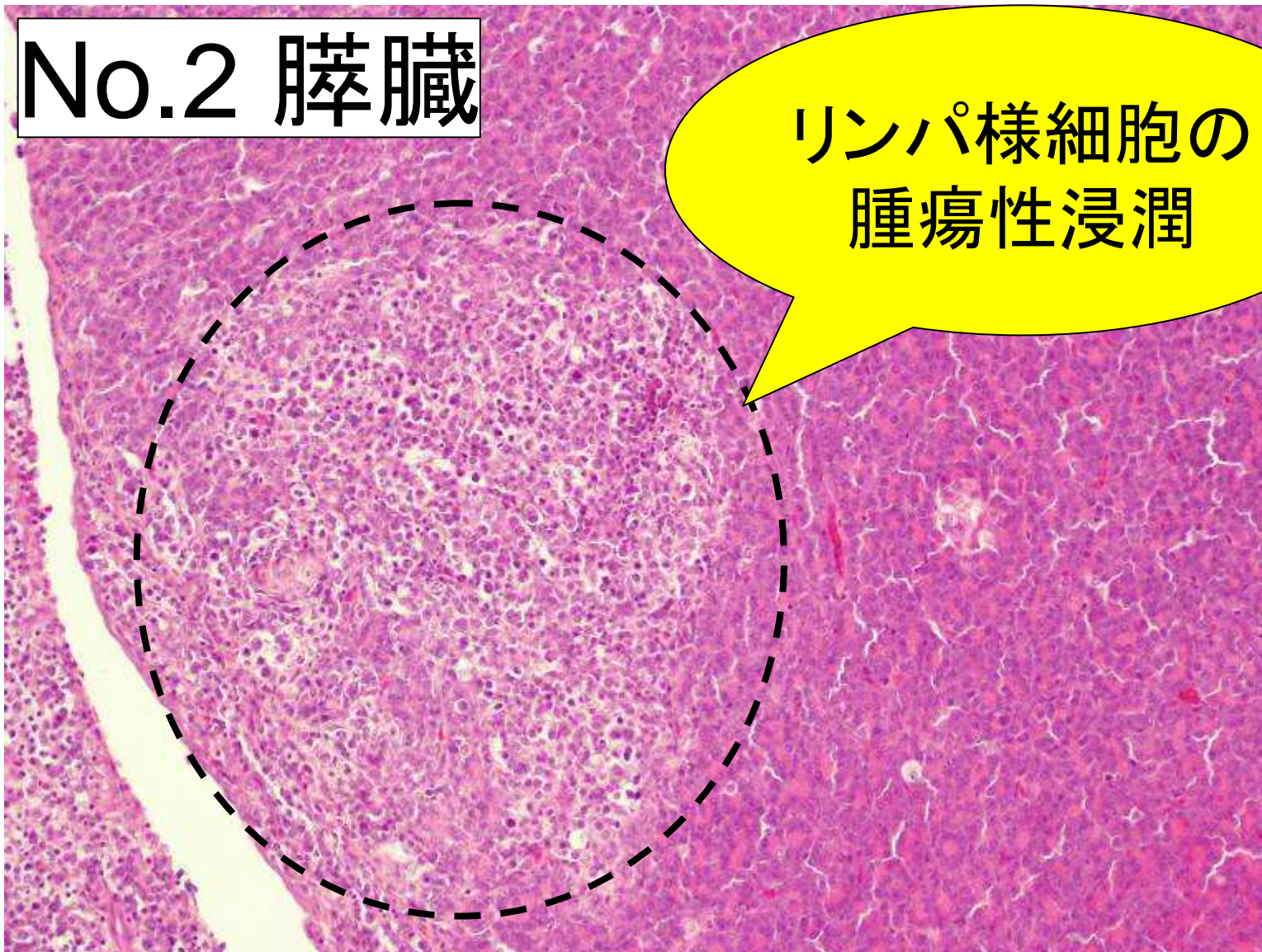
腫瘤



■ 写真5

No.2 脾臓

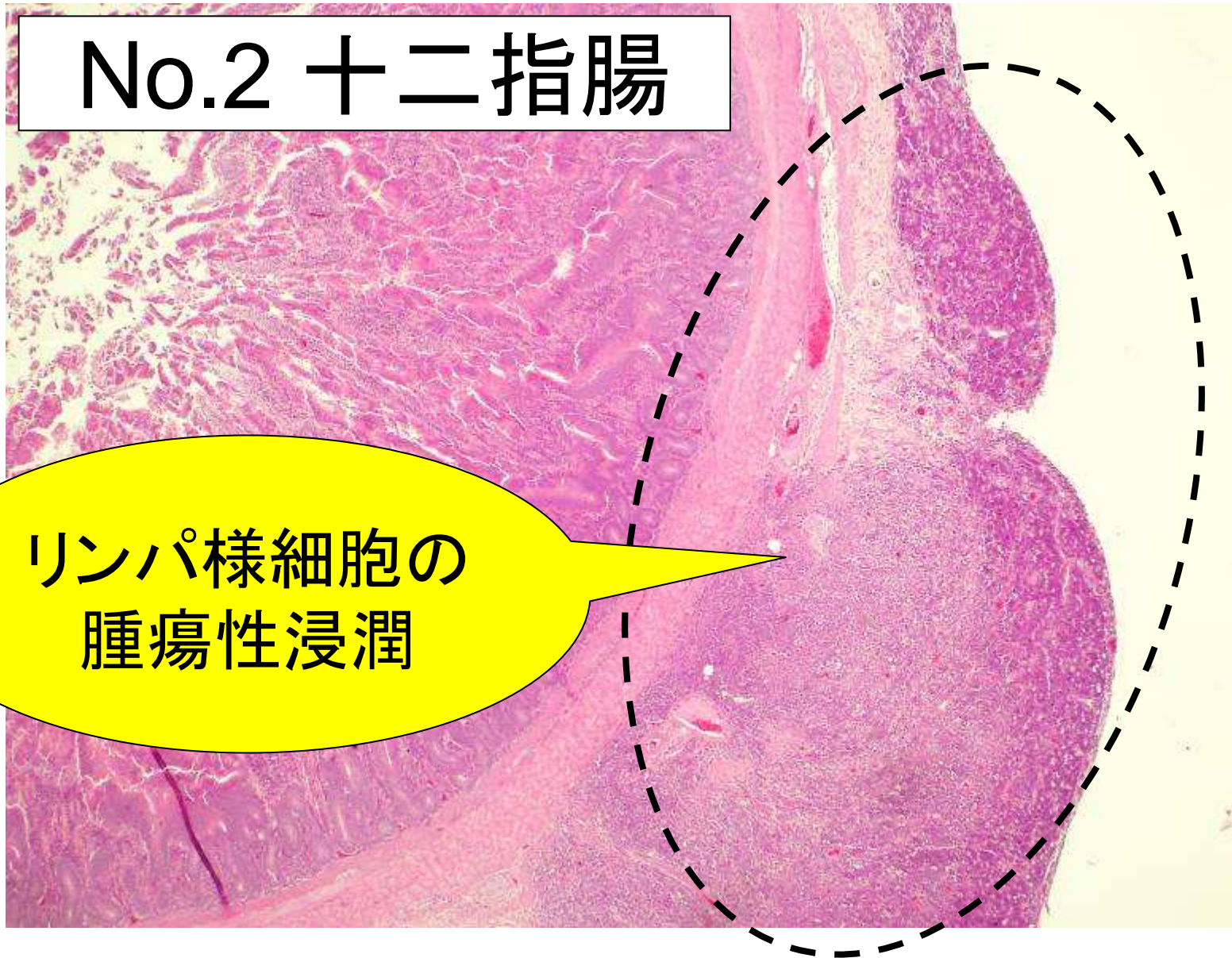
リンパ様細胞の
腫瘍性浸潤



■写真6

No.2 十二指腸

リンパ様細胞の
腫瘍性浸潤



■写真7

No.3 小腸上部の腫瘍

